

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
麻生外語観光&製菓専門学校	平成3年1月8日	竹口 伸一郎	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-14-17 (電話) 092-415-2288				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人 麻生塾	昭和26年3月12日	理事長 麻生 健	〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町3-38 (電話) 0948-25-5999				
目的	航空、鉄道、船舶など旅客運輸業界における接客業務に必要な専門知識、技能やコミュニケーション能力を身につけた人材の育成を目標とする。						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務専門課程	エアライン科	平成22年文部科学省告示第31号				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1892	920	574	692	0	0
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
160人	152人	5人	21人	26人			
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末試験、出席状況、授業態度 確認テスト等の総合評価			
長期休み	■夏季:8月8日～9月11日 ■冬季:12月24日～1月10日 ■学年末:3月14日～4月3日		卒業・進級条件	ア. 指定科目全ての修得 イ. 各学年の出席率90%以上 ウ. 卒業基準検定の取得 エ. 学生としてふさわしい生活態度			
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 欠席届と理由書(医師の診断書等)提出		課外活動	■課外活動の種類 ボランティア活動 ■サークル活動: 有			
就職等の状況	■主な就職先、業界等 航空、旅行、ホテル、一般企業 等 ■就職率 ^{※1} : 97.3 % ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 92.3 % ■その他 (平成 28 年度卒業者に関する平成29年4月1日時点の情報)		主な資格・検定等	英語検定2級/準2級、TOEIC、 AMADEUS検定、 接客サービスマナー検定2級等			
中途退学の現状	■中途退学者 5名 ■中退率 3.2 % 平成28年4月1日時点において 在学者 163名 (平成28年4月1日 入学者を含む) 平成29年3月31日時点において 在学者 152名 (平成29年3月31日 卒業者を含む)						
	■中途退学の主な理由 進路変更による退学、経済的理由による学業継続困難等						
	■中退防止のための取組 担任による定期ガイダンスや三者面談の実施、定期的な状況報告等						
ホームページ	URL: http://www.asojuku.ac.jp/aftc/						

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業連携により実践的かつ専門的な職業教育を実施することで人材養成課程の質の保証・向上を基本方針とする。授業科目開設においては、卒業生に対する「お客様アンケート」結果と教育課程編成委員との意見交換により、企業視点を軸としてグローバル社会において必要とされる知識・技能の修得を目指す。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

専攻分野における市場動向や地域産業振興の方向性等に関する意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とする。尚、委員会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1)カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- (2)各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- (3)教科書・教材の選定に関する事項
- (4)その他教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項

この際の委員会審議の内容をカリキュラム会議で報告し授業科目の改善や新規開設、授業内容や方法の改善に反映させる。これにより専攻分野で必要とされる知識・技能の修得を可能とする質の高い教育の提供を目指す。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
増田 義孝	航空貨物研修センター 代表	H29/4/1～H30/3/31	①
松永 陽子	ANA福岡空港株式会社 旅客サービス部 国際旅客サービス課マネージャー	H29/4/1～H30/3/31	③
田中 雅彦	麻生外語観光&製菓専門学校 主任	H29/4/1～H30/3/31	
安元 千夏	麻生外語観光&製菓専門学校 エアライン科専任教員	H29/4/1～H30/3/31	
宮崎 みゆき	麻生外語観光&製菓専門学校 エアライン科専任教員	H29/4/1～H30/3/31	
江口 美奈子	麻生外語観光&製菓専門学校 エアライン科専任教員	H29/4/1～H30/3/31	
中嶋 唯	麻生外語観光&製菓専門学校 エアライン科専任教員	H29/4/1～H30/3/31	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(開催日時)

平成28年度 第1回 平成28年6月23日 16:30～17:30
 平成28年度 第2回 平成28年10月20日 15:30～17:30
 平成29年度 第1回 平成29年6月21日 16:30～17:30
 平成29年度 第2回 平成29年10月18日 15:30～17:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

エアライン業界における人材像を分析し、カリキュラムやシラバスに反映させ、さらに即戦力となる人材の育成を図るため、「教職員研修規定」に則り、教職員の能力および資質等の向上を目的とした研修を継続的に実施することを基本方針とする。定期的な企業からのヒアリングなどから社会の動向を常に把握し、企業視点を軸にした教育サービスの提供を目指す。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

3ヶ月の空港実習を経験し、航空業界において必要なコミュニケーション能力の向上を図り、現場で必要なスキルと知識・実務を学習する。実習中は期間ごとに到達度を記録し、段階的な評価をしていく。実習終了後は、総合評価表にて学生が実習中に取得した知識、接客態度、習熟度を総合的に評価する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

- ・覚書にて業務内容・勤務時間等の確認をする。
- ・連絡表にて1ヶ月毎の到達度を確認する。
- ・最終評価として、実習先企業より学生ごとの評価表を作成してもらう。

(3)具体的な連携の例		
科目名	科目概要	連携企業等
空港インターンシップ A/B	授業で学習した業界知識とスキルを元に、空港における地上職の実習体験を通して更なる実践的スキルを習得する。	(株)JALスカイ九州、ANA福岡空港(株)、(株)エスエーエス、西鉄エアサービス(株)、スカイマーク株式会社

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

業界就職に求められる人材像を分析し、カリキュラムやシラバスに反映させ、さらに即戦力となる人材の育成を図るため、「教職員研修規定」に則り、教職員の能力及び資質等の向上を目的とした研修を継続的に実施することを基本方針とする。定期的な企業からのヒアリングや航空関連の企業説明会に参加し情報収集することにより、航空業界の現状を常に把握し企業視点を軸とした教育サービスの提供を目指す。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

・ANA福岡空港株式会社・株式会社JALスカイ九州・株式会社エスエーエス・西鉄エアサービス株式会社・スカイマーク株式会社

企業との情報交換による業界現状の把握

②指導力の修得・向上のための研修等

・カウンセリング研修

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

・航空機端末アマデウス操作に関する技能研修の実施
・定期的な企業ヒアリングと年4～5社の会社説明会を継続的に実施

②指導力の修得・向上のための研修等

・カウンセリング研修
・教育コーチング研修

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

本校の基本方針に基づき、学校運営が適正におこなわれているかを企業関係者、保護者、地域住民、高校関係者等の参画を得て、包括的・客観的に判定することで、学校運営の課題・改善点・方策を見出し、学校として組織的・継続的な改善を図る。また、情報を公表することにより、開かれた学校づくりをおこなう。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	・教育理念(建学の精神)・目的・目標、育成人材像を明文化しているか ・上記において職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容などを盛り込んでいるか
(2)学校運営	・学校の管理・運営体制が確立しているかどうか
(3)教育活動	各学科の教育目標、育成人材像に向け ・カリキュラムの作成などの取り組みをしているか ・教授学習プロセスの改善への取り組みをしているか ・業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みをしているか ・教員の資質維持や向上に向けた取り組みをしているか
(4)学修成果	・各学科の教育目標、育成人材に向けてその達成への取り組みと評価がされているか
(5)学生支援	・各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか(在学時)(卒業後) ・上記以外を通じての学生支援
(6)教育環境	・各学科の教育目標、育成人材に向けて教育環境が整備・活用されているか

(7) 学生の受入れ募集	・各学科の教育目標、育成人材像に向けて 入学前から卒業後まで学生支援が整備され 組織的に行われているか(入学前)
(8) 財務	・中長期的に学校の財務基盤は安定しているか ・予算収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ・資産管理は適切におこなわれているか ・会計監査が適切におこなわれているか ・財務情報の公開の体制はできているか
(9) 法令等の遵守	・各学科の教育目標、育成人材像に向けて 自己点検・評価活動の実施体制が確立して 改革・改善のためのシステム構築がされているか
(10) 社会貢献・地域貢献	・意図的・計画的・組織的に社会活動への 取組みが推進されているか
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

カリキュラム策定においては、企業等の外部関係者との連携を更に充実させるため、連携企業の選定も含め体制強化を今後も引き続き実施していくこととした。また、他の高等教育機関との連携を推進する等の改善を行っていくこととした。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年5月1日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
村山 聖子	平成28年度入学プライダル・ウエディング科2年生 保護者	H28/4/1～H30/3/31	保護者
堀部 豊和	平成23年度 卒業生	H28/4/1～H30/3/31	卒業生
高島 妙美	平成21年度 卒業生	H29/4/1～H31/3/31	卒業生
浦川 美代子	博多駅南1丁目1区 自治会長	H28/4/1～H30/3/31	自治会長
甲斐 直樹	福岡県立直方高等学校	H28/4/1～H30/3/31	校長
増田 義孝	航空貨物研修センター 代表	H28/4/1～H30/3/31	団体
山方 浩	公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー 事務局長	H28/4/1～H30/3/31	団体
松坂 寛則	九州マレーシア協会 事務局長	H28/4/1～H30/3/31	団体
加藤 博志	九州B.M.C.会長	H28/4/1～H30/3/31	団体
鶴田 武彦	福岡県洋菓子協会 専務理事・事務局長	H28/4/1～H30/3/31	団体
長 加奈子	福岡大学 准教授	H28/4/1～H30/3/31	教育機関
松永 陽子	ANA福岡空港株式会社 旅客サービス部 旅客サービス課 マネージャー	H28/4/1～H30/3/31	企業
荻原 将章	ANA福岡空港株式会社 グランドサービス部 ラインハンドリング課3課 マネージャー	H28/4/1～H30/3/31	企業
小林 俊裕	日本通運株式会社 福岡支店九州グローバルロジスティクス企画 次長	H29/4/1～H31/3/31	企業
木村 弘	トップスタッフ株式会社 九州支店 主任	H28/4/1～H30/3/31	企業
金 大義	株式会社韓進インターナショナルジャパン 福岡空港事業部 事業部長	H28/4/1～H30/3/31	企業
森山 光	株式会社アルク教育社 福岡支店 支店長	H28/4/1～H30/3/31	企業
能城 めぐみ	ヒルトン福岡シーホーク 人事部 次長一人材開発担当	H28/4/1～H30/3/31	企業
大屋 寿	株式会社ニューオータニ九州 執行役員人事総務部長	H28/4/1～H30/3/31	企業
古賀 三和子	株式会社アルカディア 人事課長	H28/4/1～H30/3/31	企業
柳原 久一郎	株式会社ブライトウェイ	H28/4/1～H30/3/31	企業
藤田 敦子	ロイヤルホールディング株式会社 人事課長	H29/4/1～H31/3/31	企業
安藤 大介	高見株式会社 九州営業部 部長	H29/4/1～H31/3/31	企業
樋口 耕平	株式会社JTB九州 企画総務部	H28/4/1～H30/3/31	企業

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

公表方法: ホームページ <http://www.asojuku.ac.jp/disclosure/>

公表時期: 8月

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育方針・カリキュラム・就職指導状況など学校運営に関して、企業等や高校関係者・保護者などに広く情報を提供することで、学校運営の透明性を図るとともに、本校に対する理解を深めていただくことを目的とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校概要、校訓、沿革、所在地、連絡先、魅力 麻生塾の取組
(2) 各学科等の教育	定員、カリキュラム、時間割、取得可能な資格、 国家試験・検定実績、内定実績
(3) 教職員	教員一覧
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職サポート
(5) 様々な教育活動・教育環境	年間行事、部活動・サークル活動
(6) 学生の生活支援	学生寮、海外交流センター、プラスα制度
(7) 学生納付金・修学支援	学費について、特待生制度、学費分割納入制度、 兄弟姉妹・親子入学奨学金、日本学生支援機構奨学金制度
(8) 学校の財務	財務情報
(9) 学校評価	自己点検・評価報告書、学校関係者評価委員会評価報告書
(10) 国際連携の状況	海外教育機関との連携、海外提携校、出願資格、 出願書類、選考方法、入学手続き、校納金特別免除制度
(11) その他	学校概要、校訓、沿革、所在地、連絡先、魅力、 麻生塾の取組

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL: <http://www.asojuku.ac.jp/> (麻生塾ホームページ)

<http://www.asojuku.ac.jp/aftc/> (麻生外語観光&製菓専門学校ホームページ)

授業科目等の概要

(商業実務専門課程エアライン学科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			接客マナー	お客様への基本的姿勢と挨拶の仕方、言葉遣い等、航空業界にふさわしいマナーを修得し、実践の場で役立つ接客スキルを磨く。	1前	30	2		△	○	○		○		
○			コミュニケーション技法	効果的なコミュニケーション手法を学び、様々な場面に対応できる情報伝達能力とスキルを養う。	1前	30	2	△		○	○			○	
○			接客サービスマナー	接客サービスマナー検定2級の取得を目指し、サービス用語、常識問題、ことわざ、言葉遣い等接客サービス全般の知識を学ぶ。	1前	30	2	○	△		○		○		
○			ビジネス実務	社会人として必要な基礎知識（心構え、立ち居振る舞い、電話対応、接客マナーなど）を修得する。	2後	30	2	△	○		○			○	
○			接客手話A	接客で必要となる基本的な手話を修得し、聴覚障害者とのコミュニケーションが図れるようになる。	2前	30	2	△		○	○			○	
○			接客手話B	接客で必要となる基本的な手話を修得し、聴覚障害者とのコミュニケーションが図れるようになる。また手話技能検定5級合格を目指す。	2後	30	2	△		○	○			○	
○			サービス介助演習	高齢者や障害者に対するサービスの基本動作を学習し、実践で役立つスキルを磨く。	2前	30	2	△		○	○	△		○	
○			ホスピタリティサービス	質の高いサービス提供のため、サービス本質に関する理解とおもてなしや奉仕の心を育成する。	2前	16	1	○	△		○			○	
○			航空概論	航空関連業務の内容を学び、業界の全体像を理解する。また航空業界で働くために必要な専門知識を習得する。	1前	30	2	○	△		○			○	
○			航空業界研究	業界理解、職種理解を通じ、目標とする企業の理解を深める。また業界の動向についてリサーチし、時事問題に精通する	1後	30	2	○			○			○	
○			運輸概論・地理	運輸業界の社会的役割、現状と課題及び将来展望を、日本の地理をあわせて学ぶ	1後	30	2	○	△		○			○	
○			業界地理	運輸業界で働く上で必須となる世界地理を学習する	2前	16	1	○	△		○			○	
	A		客室業務	客室乗務員の業務内容や必要な資質を理解し、基礎的な商品知識を習得する。	1後	30	2	△	○		○			○	

	B	地上業務	航空業界で働くために必要な現場で使用されている知識や専門用語の理解を深め、実践で通用するスキルを磨く。	1後	30	2	△	○		○		○		
○		業界受験対策	就職関連書類作成指導や面接対策を行い、業界就職を目指す。	2前	16	1		△	○	○		○		
○		卒業研究	各自が選んだテーマに関してリサーチした内容を論文としてまとめ、プレゼンを行う。	2後	16	1		△	○	○		○		
○		AMADEUS I	航空券予約、運賃計算、発券方法等についてアマデウスアルティアを操作し出来るようになる。またSpecialistを取得する	1後	46	3	△		○	○		○		
○		AMADEUS II	航空券予約、運賃計算、発券方法等についてアマデウスアルティアを操作し出来るようになる。またAir Expertを取得する	2前	60	4	△		○	○		○		
	A	空港インターンシップA	空港における地上職の就業体験を通して実践的スキルを習得する。	1後	80	2			○	△	○	△	○	○
	B	空港インターンシップB	空港における地上職の就業体験を通して実践的スキルを習得する。	2前	80	2			○	△	○	△	○	○
○		実用英語IA	航空業界で働く上で必要な高い英語力を習得し、英検2級に合格する英語運用能力を身につける。またTOEIC550点以上のスコア取得を目指す。	1前	90	6	○	△		○		○	△	
○		実用英語IB	航空業界で働く上で必要な高い英語力を習得し、英検2級に合格する英語運用能力を身につける。またTOEIC550点以上のスコア取得を目指す。	1後	90	6	○	△		○		○	△	
○		実用英語IIA	航空業界で働く上で必要な高い英語力を習得し、英検2級に合格する英語運用能力を身につける。またTOEIC550点以上のスコア取得を目指す。	2前	90	6	○	△		○		○	△	
○		実用英語IIB	航空業界で働く上で必要な高い英語力を習得し、英検2級に合格する英語運用能力を身につける。またTOEIC550点以上のスコア取得を目指す。	2後	90	6	○	△		○		○	△	
○		英会話IA	レベル別クラスで日常生活に必要な英会話力を養成する。(前期)	1前	30	2	△	○		○		△	○	
○		英会話IB	レベル別クラスで日常生活に必要な英会話力を養成する。(後期)	1後	30	2	△	○		○		△	○	
○		英会話IIA	レベル別クラスで日常生活に必要な英会話力を養成する。また業界で使用されるサービス関連英会話を学習する。(前期)	2前	30	2	△	○		○		△	○	
○		英会話IIB	レベル別クラスで日常生活に必要な英会話力を養成する。また業界で使用されるサービス関連英会話を学習する。(後期)	2後	30	2	△	○		○		△	○	
○		総合英語IA	高い英語力を習得するために必要な英語の文法を中心に学習し、総合的な英語の技能を高める	1前	30	2	○	△		○		△	○	
○		総合英語IB	高い英語力を習得するために必要な英語の文法を中心に学習し、総合的な英語の技能を高める	1後	30	2	○	△		○		△	○	
○		総合英語IIA	高い英語力を習得するために必要な英語の文法を中心に学習し、総合的な英語の技能を高める	2前	30	2	○	△		○		△	○	

○		総合英語ⅡB	高い英語力を習得するために必要な英語の文法を中心に学習し、総合的な英語の技能を高める	2後	30	2	○	△		○		△	○	
	A	韓国語Ⅰ	ハングル文字等、韓国語の基礎を学び簡単な日常会話レベルの韓国語習得を目指す。	1後	30	2	△	○		○				○
	B	中国語Ⅰ	音調の学習を始めとする、中国語の基礎を学び簡単な日常会話レベルの中国語習得を目指す。	1後	30	2	△	○		○				○
	A	韓国語ⅡA	ハングル文字等、韓国語の基礎を学び簡単な日常会話レベルの韓国語習得を目指す。またハングル検定5級取得を目指す。(前期)	2前	30	2	△	○		○				○
	B	中国語ⅡA	音調の学習を始めとする、中国語の基礎を学び簡単な日常会話レベルの中国語習得を目指す。また中国語検定準4級取得を目指す。(前期)	2前	30	2	△	○		○				○
	A	韓国語ⅡB	ハングル文字等、韓国語の基礎を学び簡単な日常会話レベルの韓国語習得を目指す。またハングル検定5級取得を目指す。(後期)	2後	30	2	△	○		○				○
	B	中国語ⅡB	音調の学習を始めとする、中国語の基礎を学び簡単な日常会話レベルの中国語習得を目指す。また中国語検定準4級取得を目指す。(後期)	2後	30	2	△	○		○				○
○		SPI対策ⅠA	就職試験で実施されるSPIの中でも特に非言語分野の理解度を高め、受験に対応できる能力を身につける。(前期)	1前	30	2	○	△		○				○
○		SPI対策ⅠB	就職試験で実施されるSPIの中でも特に非言語分野の理解度を高め、受験に対応できる能力を身につける。(後期)	1後	60	4	○	△		○				○
○		SPI対策Ⅱ	就職試験で実施されるSPIの中でも特に非言語分野の理解度を高め、受験に対応できる能力を身につける。	2前	30	2	○	△		○				○
○		日本語表現法	基礎的な文章作法を学び、実践的な課題に取り組むことで、書きことば・話しことばの効果的な表現法を学ぶ	1前	30	2	○	△		○				○
○		一般教養ⅠA	国語・数学・社会(時事)・英語を総合的に学習し、入社試験において一般常識試験に対応できる基礎力を養成する。	1前	30	2	○	△		○				○ △
○		一般教養ⅠB	国語・数学・社会(時事)・英語を総合的に学習し、入社試験において一般常識試験に対応できる基礎力を養成する。	1後	30	2	○	△		○				○ △
○		一般教養ⅡA	国語・数学・社会(時事)・英語を総合的に学習し、入社試験において一般常識試験に対応できる基礎力を養成する。	2前	30	2	○	△		○				○ △
○		一般教養ⅡB	国語・数学・社会(時事)・英語を総合的に学習し、入社試験において一般常識試験に対応できる基礎力を養成する。	2後	16	1	○	△		○				○ △
○		Word演習	文書作成に必要なタッチタイピング法を修得し、サーティファイWord文書処理技能認定試験3級合格を目指す。	1前	60	4	△			○	○			○
○		Excel演習	表計算の基礎を学び、サーティファイExcel表計算処理技能認定試験3級合格を目指す。	2前	30	2	△			○	○			○
○		プレゼンテーション演習	プレゼンテーションにおける、効果的なスキルとプレゼン方法を学ぶ。	2後	30	2		△		○	○			○

○		ペン字	日常生活における硬筆書写の一般知識、理解を深め、業務遂行時に実践できる基礎力を修得する。また正しいペンの持ち方や、姿勢を守り書写することで集中力を養う。	1前	30	2		△	○	○										
○		茶道	基本の動作と客の作法、略手前ができるようになる。	2後	30	2		△	○	○										
○		ディベート	公的なテーマに沿って異なる立場に立って討論をすることで自分の意見を伝える力を養う	2後	16	1	△	○		○										
○		社会教養ⅠA	履歴書の作成、企業研究、自己分析の仕方等を理解し、次年度の就職活動への準備を行う。(前期)	1前	16	1	△	○		○										
○		社会教養ⅠB	履歴書の作成、企業研究、自己分析の仕方等を理解し、次年度の就職活動への準備を行う。(後期)	1後	46	3	△	○		○										
○		社会教養ⅡA	受験企業の選定、履歴書作成、面接指導等、就職活動の指導と支援を行う。	2前	30	2	△	○		○										
○		社会教養ⅡB	社会人として必要となる基礎知識の習得を目的とする。自己管理能力と体力向上の重要性を理解し、且つ伝統文化を体験することで社会的視野を広げ実生活に活かせる知識を修得する。	2後	46	3	△	○		○										
○		GCBⅠ	感謝と思いやりの心、志を持つことの大切さについて学ぶ。	1前	16	1	○	△		○										
○		GCBⅡ	感謝と思いやりの心、志を持つことの大切さについて学ぶ。	2前	16	1	○	△		○										
		○ 国内研修旅行	関東圏の国際空港を視察し、実務を見学することにより、職業観を深める。	1後	24					○		○								
		○ 海外研修旅行	異文化体験や他国籍の人との対話を通じ国際的な感覚を身につける。同時にコミュニケーション能力、語学力向上を目指す	2前	24					○		○								
		○ サービス介助士	高齢者や障害者に対するサービスの基本動作を学習し、サービス介助士2級を目指す。	1後	16	1	△			○	○	△								
		○ 業界研究	航空・運輸業界を研究し理解を深めることを目的とする。また業界の特性である提示運航や安全確保の重要性について学ぶ。	1.2後	30	2				○		○								
合計				53科目				1892単位時間(122単位)												

*Aか*Bのどちらかを選択する

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	各学年における当該学科の指定科目をすべて履修・修得していること。	1学年の学期区分
1学期の授業期間		15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。